



パタゴニアのセーターに肘あてを付ける方法

このガイドでは、Patagoniaセーターの肘にパッチをあてるために必要な手順を説明します。フ...

作成者: Brittany McCrigler



はじめに

このガイドでは、Patagoniaセーターの肘にパッチをあてるために必要な手順を説明します。フェルトのセーターやコーデュロイの生地は、セーターのワッペンに最適です。セーターの色に合うパッチの色を選んでください。ミシンがなければ、手縫いでパッチを付けることもできます。手で縫うかミシンで縫うかどうか、縫っている間引っ掛かりを防ぐためにボールペンの針が必要です。手縫いの場合は、ミシンを使う手順は無視してください。どちらの方法を選ぶにしても、袖の一番上の層だけを縫うようにしてください！ソーイングは初めてですか？[ソーイング用語集](#)をご覧ください。

🔧 ツール:

Ballpoint Needle (1)
Measuring Tape (1)
万能ハサミ (1)
Sewing Machine (1)
Sewing Pins (1)

⚙️ 部品:

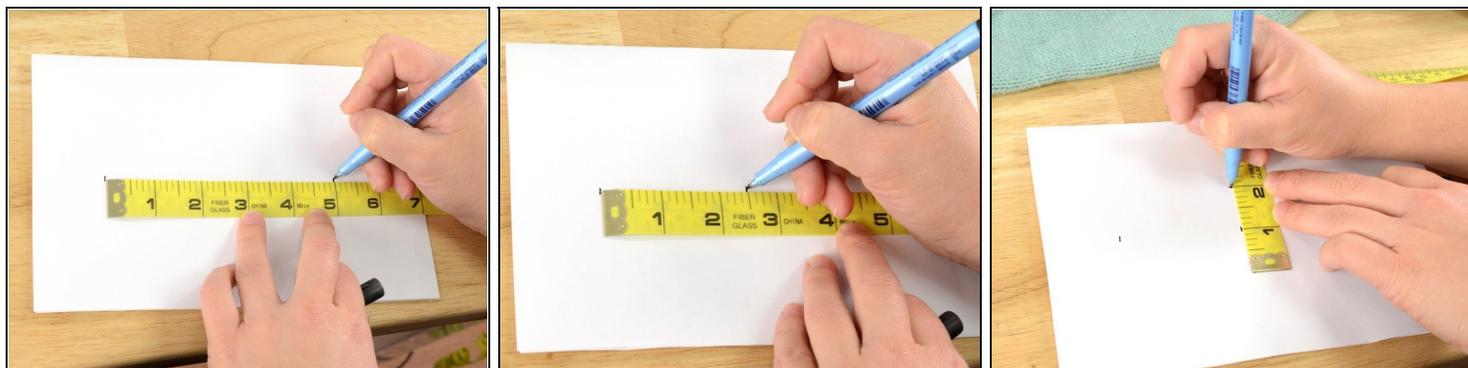
Paper (1)
Patch Fabric (1)

手順 1 — 肘あて



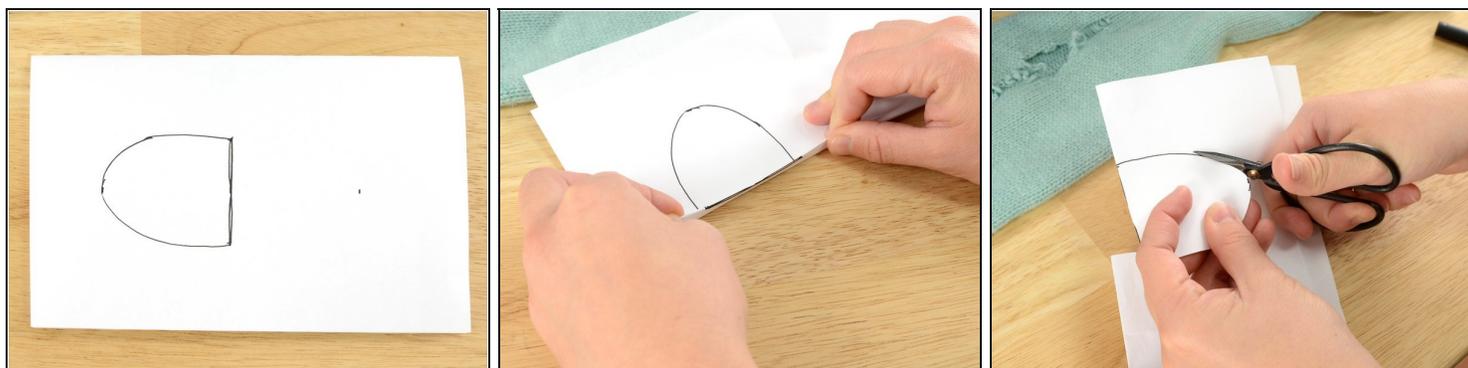
- 穴の開いた箇所を上にしてセーターを作業テーブルに置きます。
- 穴の長さを測ります。
- 穴の幅を測ります。

手順 2



- 用紙に穴の長さ + 3 センチの直線の両端に印を付けます。
- 直線の中央に印を付けます。
- 中央の印から定規を90度回転させます。穴の幅 + 3 センチの直線の両端に印を付けます。

手順 3



- 穴の長さ と 幅の端点を結ぶ曲線を描きます。
- 穴の幅の端点を結ぶ直線を描きます。
- 直線で紙を半分に折ります。
- 曲線沿いに切ります。切り取った部分が肘あての型紙になります。

手順 4



- 型紙を袖の穴の上に置き、大きさと形を確認します。

手順 5



- 肘あてに使う生地の上に型紙を置きます。
 - ① コーデュロイやフェルト状にしたセーターなど、セーターよりやや厚手の生地を選びます。デニムや皮のような厚手の生地を使うとセーターが破れる可能性があります。
 - ② ウール100%のセーターを洗濯機で洗い、乾燥機で乾かすとセーターの目が詰まって縮み、フェルト状になります。
- 肘あて用の生地型紙を置き、まち針でとめます。
 - ① 二重にした生地の上に型紙を置けば、同一の肘あてを同時に裁断できます。

手順 6



- 型紙沿いに肘あて用の生地をハサミで切ります。
- 肘あて用の生地を確認し、粗い縁があればハサミできれいに切り取ります。

手順 7



- 穴の上に肘あてを置きます。

手順 8



- 肘あてをまち針でとめます。

⚠️ 袖の前後を閉じてしまわないよう、肘あては袖の上側だけにとめます。

手順 9



- ミシンにニット用針を取り付けます。

ⓘ 針はミシンの取扱説明書にしたがって取り付けてください。

手順 10



- ちょうど袖に手を通すようにミシンの腕に袖を通します。
- ① ミシンの腕に袖を通すために補助テーブルを取り外す必要があるかもしれません。ミシンの取扱説明書を参照してください。

手順 11



- 針を肘あての縁に合わせます。
- 袖を回転させながら肘あての周囲を縫います。
- ① ジグザグ縫いまたは[サテステッチ](#)で肘あてを縫うとより頑丈になります。
- 周囲を縫い終わったら最初の数ステッチの上を再び縫います。

手順 12



- ミシンの腕から袖を外します。
- 糸を切ります。
- もう片側の袖にも同様の手順で肘あてを付けます。

ご質問はPatagoniaカスタマーサービスにお問い合わせください。